

# 第12回 日本てんかん学会近畿地方会プログラム

【日 時】平成28年7月23日(土)

- \*脳波セミナー 11時00分～11時50分
- \*近畿地方会 12時00分開始
- \*総 会 12時00分～12時20分
- \*ランチョンセミナー 12時30分～13時30分
- \*特別講演 13時50分～14時50分

【会 場】大阪大学中之島センター

〒530-0005

大阪市北区中之島4-3-53

TEL: 06-6444-2100 / FAX: 06-6444-2338

【会 長】木下 利彦(関西医科大学 精神神経科学教室)

【脳 波 セミナー】「神経生理検査のデータを正しく報告するために」  
高橋 修(慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室)

【ランチョン セミナー】「てんかんの診断と治療: Up to Date」  
寺田 清人(静岡てんかん・神経医療センター)

共催: 大塚製薬株式会社 / ユーシービージャパン株式会社

【特別講演】「てんかん原性の臨床生理学的 biomarker: red slow はあるか?」  
池田 昭夫(京都大学医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座)

## 次回予告

第13回 日本てんかん学会近畿地方会

日 時: 平成29年7月23日(日)

会 場: 大阪大学中之島センター

会 長: ベルランド総合病院 小児科 沖永 剛志

# 参加者の皆様へ

【受付】 10階ロビーにて10時30分より受付を開始いたします。

【地方会参加費】 会員 2,000 円、非会員 4,000 円、非会員研修医 3,000 円  
脳波セミナーを受講された技師 2,000 円

【脳波セミナー参加費】 3,000 円

※脳波セミナーの参加費と地方会参加費は異なります。

※脳波セミナーのみご参加いただくことは可能です。

※引き続き地方会に参加される場合は地方会参加費が別途必要となります。

【抄録集】 2,000 円（会員には事前発送いたします。）

【単位】

日本てんかん学会てんかん専門医資格更新単位：

研究発表・講演（筆頭演者）20 単位、参加者 10 単位（近畿地方会参加者）

※同一学術集会における発表単位と参加単位は合算しない。

日本臨床神経生理学会認定更新点数：2 点（脳波セミナー受講者のみ）

【交通案内】 大阪大学中之島センター

■電車でお越しになる場合

- ・京阪中之島線 中之島駅 6 番出口より徒歩約 5 分、渡辺橋駅 1 番出口より徒歩約 5 分
- ・阪神本線 福島駅より 徒歩約 9 分
- ・JR 東西線 新福島駅より 徒歩約 9 分
- ・JR 環状線 福島駅より 徒歩約 12 分
- ・地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約 10 分
- ・地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約 16 分

■駐車場はありません。車でのご来館はご遠慮下さい。



# 発表者の皆様へ

## 【受付・発表時間について】

1. 発表時間の 30 分前までに PC 受付に発表データ（USB フラッシュメモリーなど）をお持ちください。
2. 発表 7 分、質疑 3 分です。発表時間を厳守して下さい。
3. 発表開始後 7 分でベルが 1 回、質疑終了後ベルが 2 回鳴ります。

## 【発表使用機材について】

1. 会場に発表用のパソコンをご用意しております。
2. 会場でご利用いただけるパソコンは下記の通りです。  
※ Windows 7/8、アプリケーションソフト：Windows MS PowerPoint 2010/2013
3. CD-R（CD-ROM）、USB フラッシュメモリー持込みの注意点
  - 1) 動画がある場合には CD-R 等のメディアは使用できません。必ずノートパソコンをお持込みください。
  - 2) CD-R および USB フラッシュメモリーでお持込みの場合は下記の様式で保存してご用意ください。

※ Windows…MS PowerPoint 2010/2013

- 3) Macintosh の場合は、ノートパソコンをお持込みください。
- 4) フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。  
日本語…MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝  
英語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
4. プレゼンテーションに他のデータ〈静止画・グラフ等〉をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。  
※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。

※事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。

## 【ノートパソコン持込みの注意点】

1. OS は Windows、Macintosh が使用できます。  
※使用するアプリケーションは PowerPoint のみとさせていただきます。
2. バックアップ用データとして CD-R（CD-ROM）または USB をご持参ください。  
またパソコンの AC アダプターは必ずご用意ください。
3. 会場でご用意する PC ケーブルコネクタの形状は MiniD-sub15 ピンです。この形状に合ったパソコンをご用意ください。またこの形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でご持参ください。
4. スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードは予め解除してください。  
※発表データ受付時に確認させていただき、設定が解除されていない場合は設定を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。  
※パスワードの設定が解除されていない場合は、パスワードロック時にお呼び出しをする場合がございます。

## 脳波セミナー

11:00 ~ 11:50

◆座長 吉村 匡史 (関西医科大学 精神神経科学教室)

## 神経生理検査のデータを正しく報告するために

高橋 修

(慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

## 総会 ◆議長 加藤 天美

12:00 ~ 12:20

## ランチョンセミナー

12:30 ~ 13:30

◆座長 末長 敏彦 (天理よろづ相談所病院 神経内科)

\*共催: 大塚製薬株式会社 / ユーシービージャパン株式会社

## てんかんの診断と治療: Up to Date

寺田 清人

(静岡てんかん・神経医療センター)

## 休憩

13:30 ~ 13:45

## 開会あいさつ 会長 木下 利彦

13:45 ~ 13:50

## 特別講演

13:50 ~ 14:50

◆座長 木下 利彦 (関西医科大学 精神神経科学教室)

## てんかん原性の臨床生理学的 biomarker: red slow はあるか?

池田 昭夫

(京都大学医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座)

## 休憩

14:50 ~ 14:55

## A: 成人症例

14:55 ~ 15:35

◆座長 松本 理器 (京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座)

### 1. 食事中の大きな笑いにより強直発作様の意識消失を呈した73歳男性例

○本多正幸<sup>1)</sup>, 下竹昭寛<sup>1)</sup>, 坂戸勇介<sup>2)</sup>, 引網亮太<sup>1)</sup>, 藤井大樹<sup>1)</sup>, 小林勝哉<sup>1)</sup>, 松本理器<sup>3)</sup>, 高橋良輔<sup>1)</sup>, 池田昭夫<sup>3)</sup>

1. 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学

2. 京都市立病院 神経内科

3. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学

2. 失語発作をきたした症候性てんかんの2例

○影山恭史, 長谷川恭子, 足立 洋, 石原佳菜子, 山田隆平, 米田行宏  
兵庫県立尼崎総合医療センター神経内科

3. 器質的疾患がなく発作時の<sup>123</sup>I-IMP-SPECTが有用であった, 複雑幻視のみを呈した単純部分発作の1例

○酒巻春日<sup>1)</sup>, 和田一孝<sup>1)</sup>, 八木田 薫<sup>1)</sup>, 廣瀬正和<sup>1)</sup>, 月田和人<sup>1)</sup>, 山中治郎<sup>1)</sup>, 新出明代<sup>1)</sup>, 景山 卓<sup>1)</sup>, 橋本修治<sup>2)</sup>, 末長敏彦<sup>1)</sup>

1. 天理よろづ相談所病院 神経内科
2. 天理よろづ相談所病院 白川分院

4. 小児期にてんかんを発症、中年期から反復性の意識障害が増悪し、門脈体循環シャントが発覚した一例

○梶川駿介<sup>1,3)</sup>, 出村彩郁<sup>2)</sup>, 木下真幸子<sup>1)</sup>

1. 国立病院機構宇多野病院 神経内科
2. 国立病院機構宇多野病院 臨床検査科
3. 大阪赤十字病院 神経内科

## B : 小児症例

15 : 35 ~ 16 : 15

◆座長 荒木 敦 (大阪府済生会野江病院 小児科)

5. 限局性の所見を呈し診断に難渋した Rasmussen 症候群の一例

○舞鶴賀奈子, 吉田健司, 横山淳史, 粟屋智就, 加藤竹雄, 中田昌利, 齊藤景子, 井手見名子, 平家俊男  
京都大学医学部附属病院 小児科

6. 大脳皮質形成異常に合併した難治性てんかんに対するケトン食療法の有用性

○福岡正隆, 川脇 壽, 金 聖泰, 井上岳司, 温井めぐみ, 九鬼一郎, 岡崎 伸  
大阪市立総合医療センター 小児神経内科

7. レベチラセタム (LEV) により psychogenic non-epileptic seizures の増悪を認めた症候性局在関連てんかんの1例

○佐々木彩恵子, 熊田知浩, 柴田 実, 日衛嶋郁子, 林 安里, 野崎章仁, 森 未央子, 井上賢治, 藤井達哉  
滋賀県立小児保健医療センター 小児科

8. 脳波の高振幅徐波の持続からけいれん重積型脳症を疑った late-onset Central hypoventilation syndrome (CHS) の男児例

○池田 妙, 中井理恵, 林 良子, 木村貞美, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏  
大阪府立母子保健総合医療センター 小児神経科

## 休 憩

16 : 15 ~ 16 : 25

## C：外科治療

16：25～17：15

◆座長 中野 美佐（市立吹田市民病院 神経内科）

### 9. 難治性スパズムに脳梁離断術が有効であった症候性てんかんの一例

○渡邊早苗<sup>1)</sup>，服部妙香<sup>1)</sup>，田中勝治<sup>1)</sup>，服部英司<sup>1)</sup>，佐久間 悟<sup>2)</sup>，保科隆男<sup>2)</sup>，山下加奈子<sup>2)</sup>，瀬戸俊之<sup>2)</sup>，宇田武弘<sup>3)</sup>

1. 西宮すなご医療福祉センター
2. 大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学
3. 大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学

### 10. 特徴的な発作症候を呈した前頭葉てんかんの一例

○橋本洋章<sup>1)</sup>，押野 悟<sup>1,2)</sup>，横田千里<sup>1)</sup>，呉村有紀<sup>1)</sup>，田中将貴<sup>1)</sup>，小林真紀<sup>1)</sup>，枝川光太郎<sup>1)</sup>，柳澤琢史<sup>1)</sup>，貴島晴彦<sup>1,2)</sup>

1. 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科
2. 大阪大学医学部附属病院 てんかんセンター

### 11. 右中心溝に主座をおく皮質形成異常による難治性てんかんに対して、二期的に覚醒下焦点切除を行った症例

○宇田武弘，馬場良子，大西洋平，渡部祐輔，宇田裕史，中条公輔，Samantha Tamrakar，川嶋俊幸，大畑建治

大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科

### 12. 迷走神経刺激術が痙攣重積発作抑制に有効であった非ヘルペス性辺縁系脳炎後てんかんの一例

○中野美佐<sup>1,2)</sup>，瀬川翔太<sup>2)</sup>，早野絵梨<sup>2)</sup>，小河浩太郎<sup>2)</sup>，秀嶋 信<sup>2)</sup>，森谷真之<sup>2)</sup>，巽千賀夫<sup>2)</sup>，中野直樹<sup>3)</sup>，加藤天美<sup>3)</sup>

1. 市立吹田市民病院 神経内科
2. 市立豊中病院 神経内科
3. 近畿大学医学部 脳神経外科

### 13. 迷走神経刺激療法5年を経過した難治てんかん例の検討

○中野直樹<sup>1)</sup>，宮内正晴<sup>1)</sup>，中川修宏<sup>1)</sup>，大槻俊輔<sup>2)</sup>，加藤天美<sup>1)</sup>

1. 近畿大学医学部 脳神経外科
2. 近畿大学医学部附属病院 脳卒中センター

## D：脳波関連

17：15～17：55

◆座長 石井 良平（大阪大学大学院医学系研究科 精神医学）

### 14. 頭蓋内脳波で subclinical discharge を頻回に認めた海綿状血管腫の1例

○西林宏起<sup>1)</sup>，尾崎充宣<sup>1)</sup>，小倉光博<sup>1)</sup>，中尾直之<sup>1)</sup>，石原隆史<sup>2)</sup>

1. 和歌山県立医科大学 脳神経外科
2. 新宮市立医療センター 脳神経外科

### 15. 脳波検査における自動解析機能についての展望—sLORETA 尖度解析によるてんかん性異常波の発生源推定—

○池田俊一郎<sup>1)</sup>，Roberto Pascual-Marqui<sup>1,3)</sup>，吉村匡史<sup>1)</sup>，西田圭一郎<sup>1)</sup>，北浦祐一<sup>1)</sup>，桂 功士<sup>1)</sup>，石井良平<sup>2)</sup>，青木保典<sup>2)</sup>，畑 真弘<sup>2)</sup>，岩瀬真生<sup>2)</sup>，木下利彦<sup>1)</sup>

1. 関西医科大学 精神神経科学講座
2. 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学
3. The KEY Institute for Brain-Mind Research, University Hospital of Psychiatry, Zurich

16. エベロリムス投与により自閉性症状に改善が見られた結節性硬化症患者における脳波解析  
○石井良平<sup>1)</sup>, 金田眞理<sup>2)</sup>, 青木保典<sup>1)</sup>, 池田俊一郎<sup>3)</sup>, 畑 真弘<sup>1)</sup>, 岩瀬真生<sup>1)</sup>, 池田 学<sup>1)</sup>
1. 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学
  2. 大阪大学大学院医学系研究科 皮膚科学
  3. 関西医科大学 精神神経科学
17. 当科外来における脳波検査対象者の内訳  
○吉村匡史<sup>1,2)</sup>, 鈴木美佐<sup>2)</sup>, 池田俊一郎<sup>1,2)</sup>, 西田圭一郎<sup>1,2)</sup>, 北浦祐一<sup>1,2)</sup>, 桂 功士<sup>1,2)</sup>,  
三井 浩<sup>1,2,3)</sup>, 上田紗津貴<sup>1)</sup>, 森村恵介<sup>2)</sup>, 木下利彦<sup>1,2)</sup>
1. 関西医科大学 精神神経科学教室
  2. 関西医科大学総合医療センター 精神神経科
  3. 瀬田川病院

---

閉会あいさつ

会 長 木下 利彦

17:55 ~ 18:00

---